

2月 日高川町広報カレンダー



- 1日 金 元気アップ教室 (10:00~11:30 健康管理センター)
- 2日 土
- 3日 日
- 4日 月 行政相談 (13:00~15:00 社会福祉協議会川辺本所) 弁護士相談 (13:00~16:00 社会福祉協議会川辺本所)
- 5日 火 運動教室 (10:00~11:30 保健福祉センター 13:30~15:00 健康管理センター 19:00~20:30 保健センター)
- 6日 水
- 7日 木 4ヶ月、6ヶ月、10ヶ月児健診 (平成30年3月・7月・9月生) (13:00~ 保健センター)
- 8日 金
- 9日 土
- 10日 日 第13回日高川町農業祭 (9:00~15:30 農村環境改善センター等)

- 11日 月 心配ごと相談 (13:00~15:00 社会福祉協議会中津支所)
- 12日 火 発達障害児・者巡回相談 (11:00~16:00 御坊保健所) のびのび広場 (2歳~未就園児) 「つくって遊ぼう! (おひなさま)」 (なかつ保育所 10:00~11:30)
- 13日 水
- 14日 木 行政相談 (10:00~12:00 役場中津支所) 園庭開放 (10:00~11:00 かわべ保育所 雨天中止)
- 15日 金
- 16日 土
- 17日 日
- 18日 月 元気アップ教室 (10:00~11:30 保健福祉センター)
- 19日 火 行政相談 (9:00~11:00 役場美山支所) 心配ごと相談 (13:00~15:00 社会福祉協議会美山支所) かわべほのぼのルーム 「親子ふれあい体操」 (未就園児) (かわべ保育所 10:00~11:00)

- 20日 水 2歳児歯科検診 (平成28年9月・10月・11月生) (13:00~ 健康管理センター)
- 21日 木
- 22日 金 巡回職業相談 (13:00~15:00 日高川交流センター)
- 23日 土
- 24日 日 清掃センター日曜開放日 (8:00~11:30)
- 25日 月 1歳6ヶ月児・3歳児健診 (平成27年6月・7月生、平成29年6月・7月生) (13:00~ 保健センター)
- 26日 火
- 27日 水 元気アップ教室 (13:30~15:00 保健センター)
- 28日 木 すすく教室 (平成30年9月・10月・11月生) (10:00~ 保健センター) 固定資産税 (第4期分)、国民健康保険税 (第8期分)、水道料金 (1月分) 納期限



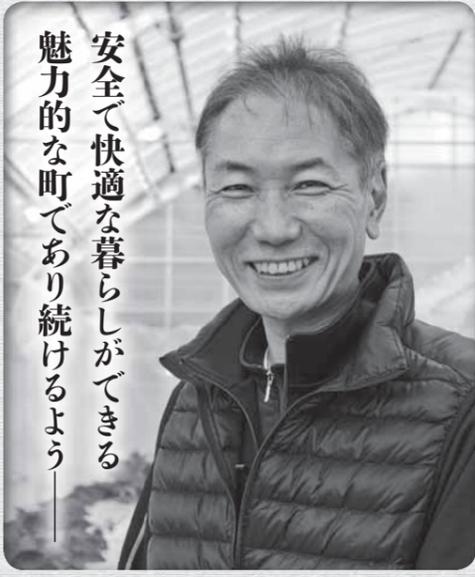
- 7日 木 町内中学校卒業式 4ヶ月、6ヶ月、10ヶ月児健診 (平成30年4月・8月・10月生) (13:00~ 保健センター)
- 8日 金
- 9日 土
- 10日 日

- 1日 金 行政相談 (13:00~15:00 社会福祉協議会川辺本所) 心配ごと相談 (13:00~15:00 社会福祉協議会川辺本所)
- 2日 土 運動教室 (10:00~11:30 保健福祉センター 13:30~15:00 健康管理センター 19:00~20:30 保健センター)
- 3日 日
- 4日 月 元気アップ教室 (10:00~11:30 健康管理センター)

つなぐ日高川

Vol. 11

インタビュー形式で町内で頑張っている方を取材します



安全で快適な暮らしができる 魅力的な町であり続けるよう

木島賢一さん「皆瀬」 お仕事・農業

「関東地方から移住をされた」と伺いました。日高川町に移住することになったきっかけは？

東日本大震災をきっかけに、自然豊かな環境で子供を育て、家族と共に暮らしたいという想いを持つようになり、全国各地の候補地から検討した結果、妻の祖母が暮らしていて、そして妻の両親の故郷でもある日高川町へ神奈川県横須賀市から移住しました。

「移住を計画されていた当初は農業経験がゼロであると伺いました。なぜ農業を始めようと思ったのですか？」

「前職は外資系の会社でセールスをしていたのですが、日高川町への移住を決めた後に、次は職業をどうするか、日高川町でどのような仕事ができるのかと考えました。そんな時に、和歌山県で新規就農を支援する研修プログラムが新設されること、また、行政機関からの紹介で、研修生として受け入れてくれる農家も見つかり、また「まりひめ」というイチゴとの出会いもあり、ゼロからのスタートになるけれどもイチゴ農家になろうと決意しました。」

「木島さんにとつての「まりひめ」の美味しい食べ方は？」

「買ったままそのまますぐ食べる」それが一番です。まりひめは、時期により多少の差はありますが、ほぼ完熟に近い状態のイチゴを毎日選んで収穫します。この「まりひめ」という品種は、元々、食味や香りについて非常に高い評価を得ているイチゴですが、各地方から大都市圏への輸送を考え、完熟より早めに収穫されたイチゴと比べると格段に美味しいと思います。こんな美味しいイチゴを一番良い状態で食べられる和歌山県民の皆さんは幸せであると思います。」

「今のお仕事をされている、やりがいを感じることはありますか。」

「農業」という仕事は、色々な形で地域や社会に貢献できる仕事だなと感じています。例えば、隣の有田川町になるのですが、就労支援A型事業所を営む社会福祉法人と一緒に、様々な障害を持った方が仕事をするを目的とした福祉農園（果樹栽培用の対候性ハウス）の整備を行いました。国の補助事業に採択された事業なのですが、「農福連携」という取り組みです。これをモデルケースとして、ぜひ日高川町でも、農福連携による福祉農園の整備を実現したいです。」

「最後に、広報日高川町を読んでいただく方々にメッセージなどがありませんか。」

「現在、過疎化や高齢化が凄いです。リードで進んでおり、それらはどうしても止めることが難しいと思いますが、止められない。」



イチゴの株の管理作業をしている木島さん

「という現実の中でも、いつまでも住民が快適で幸せにいきいきと暮らせるような町づくりを、老若男女一丸となって、その時代に合った先進的なコミュニティを創り、あきらめずに実現していくことを考えることが大切だと思います。何年後もこの日高川町が、古き良き地域固有の伝統文化や資源を残しつつ、その時代に合った安全で快適な暮らしができる魅力的な町であり続けるよう、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。」